

令和5年度 福岡県立輝翔館中等教育学校(後期課程) CAN-DOリスト

*(生徒による)自己評価の基準 A:できる B:なんとかできる C:努力が必要

技能	学年		資格取得 目標	自己評価	第5学年(学年末)	資格取得 目標	自己評価	第6学年(学年末)	資格取得 目標	自己評価
	項目	第4学年(学年末)								
Listening (聞くこと)	日常的な話題について	7～8文程度の身近な話題に関する会話やスピーチを、多くの支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、概要及び詳細を把握できる。	実用英語技能検定準2級程度の能力 学年全体の50%	A B C	10文程度の身近な話題に関する会話やスピーチを、一定の支援を活用すれば必要な情報を聞き取り、概要及び詳細を把握できる。	実用英語技能検定準2級程度の能力 学年全体の75%	A B C	15文程度の身近な話題に関する会話やスピーチを、ほぼ支援がなくとも必要な情報を聞き取り、概要及び詳細を把握できる。	実用英語技能検定2級程度の能力 学年全体の50%	A B C
	社会的な話題について	多くの支援を活用すれば、60wpm程度の速度で読まれる説明や報告、対話や討論などを聞いて、概要や要点を把握できる。		A B C	一定の支援を活用すれば、75wpm程度の速度で読まれる説明や報告、対話や討論などを聞いて、概要や要点を把握できる。		A B C	ほぼ支援がない状態で、150wpm程度の速度で読まれる説明や報告、対話や討論などを聞いて、概要や要点を把握できる。		
Reading (読むこと)	日常的な話題について	基本的な語句や文での言いかえや、書かれている文章の背景に関する説明を読み、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取ることができる。		A B C	使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができる。		A B C	ほぼ支援がなくとも、要点を表す語句や文、時間順序、例示、列挙、原因、結果、対比などの文章展開を示す語句に留意しながら、書き手の意図を把握することができる。		A B C
	社会的な話題について	多くの支援を活用すれば、社会的な話題に関する250語～300語程度の説明や報告を、文章展開に留意しながら情報を読み取り、要点を把握できる。		A B C	一定の支援を活用すれば、社会的な話題に関する300語～400語程度の説明や報告を、文章展開に留意しながら情報を読み取り、要点を把握できる。		A B C	ほぼ支援がない状態で、社会的な話題に関する400語～650語程度の説明や報告を、文章展開に留意しながら情報を読み取り、要点を把握できる。		
Speaking (やり取り)	日常的な話題について	使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合うことができる。		A B C	使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができる。		A B C	説明や物語、対話や討論など聞いたり読んだりしたことに基づき、語句や文を場面・状況に応じて適切に用い、情報や考え、気持ちを伝え合う会話を継続することができる。		A B C
	社会的な話題について	使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合うことができる。		A B C	使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく伝え合うことができる。		A B C	語句や文を場面・状況に応じて適切に使用しながら話し合いを行い、課題の解決策を論理的に伝え合うことができる。		
Speaking (発表)	日常的な話題について	使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに伝えることができる。		A B C	使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく伝えることができる。		A B C	説明や物語、対話や討論など聞いたり読んだりしたことに基づき、語句や文を場面・状況に応じて適切に用いながら、自分の意見や感想を90語程度で論理的に発表できる。		A B C
	社会的な話題について	使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに伝えることができる。		A B C	使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく伝えることができる。		A B C	課題解決に向けたペア・グループでの討議活動、及びスピーチなどの自己表現活動に積極的に参加できる。		
Writing (書くこと)	日常的な話題について	聞いたり読んだことに対して、適切な語句や文を使って50語程度の論理的な文章を書くことで、自分の意見や感想を伝えることができる。		A B C	聞いたり読んだことに対して、適切な語句や文を使って70語程度の論理的な文章を書くことで、自分の意見や感想を伝えることができる。		A B C	聞いたり読んだことに対して、適切な語句や文を使って90語程度の論理的な文章を書くことで、自分の意見や感想を伝えることができる。		A B C
	社会的な話題について	使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝えることができる。		A B C	使用する語句や文、文章例が示されたり、一定の時間が確保されたりする状況で、説明や討論などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに、複数の段落で伝えることができる。		A B C	自らの論点や根拠を明確にして、文章構成や図表との関連を考慮しながら、複数の段落からなる論理的な文章を書くことで、課題解決に向けた意見や感想を伝えることができる。		

令和5年度 福岡県立輝翔館中等教育学校(前期課程) CAN-DOリスト

*(生徒による)自己評価の基準 A:できる B:なんとかできる C:努力が必要

技能	学年		資格取得 目標	自己評価	資格取得 目標	自己評価				
	項目	第1学年(学年末)					第2学年(学年末)	第3学年(学年末)		
Listening (聞くこと)	日常的な話題について	2~3文程度の身近な話題に関する会話やスピーチを、はっきりと話されれば必要な情報を聞き取り、概要及び詳細を把握できる。	実用英語技能検定5級 全体の90%以上	A B C	実用英語技能検定4級 全体の75%以上	A B C	5~6文程度の身近な話題に関する会話やスピーチを、はっきりと話されれば必要な情報を聞き取り、概要及び詳細を把握できる。	実用英語技能検定3級 全体の50%以上	A B C	
	社会的な話題について	はっきりと話されれば、20wpm程度の速度で読まれる説明や報告、対話や討論などを聞いて、概要や要点を把握できる。		A B C		はっきりと話されれば、30wpm程度の速度で読まれる説明や報告、対話や討論などを聞いて、概要や要点を把握できる。	A B C		はっきりと話されれば、50wpm程度の速度で読まれる説明や報告、対話や討論などを聞いて、概要や要点を把握できる。	A B C
Reading (読むこと)	日常的な話題について	小学校での学習やこれまでの経験の中で触れてきた簡単な語句や文で書かれたものであれば、身近な話題(家族、家庭生活、地域など)について、キーワードを読み取り、情報を整理することができる。		A B C		中学校で扱う語句や文を用いて書かれたものであれば、身近な話題(家族、家庭生活、地域など)について、キーワードを読み取り、情報を整理することができる。	A B C		簡単な語句や文で書かれた短い文章であれば、身近な話題(家族、家庭生活、地域など)について、キーワードを読み取り、情報を整理することができる。	A B C
	社会的な話題について	小学校での学習やこれまでの経験の中で触れてきた簡単な語句や文で書かれたものであれば、社会的な話題に関する20語~50語程度の説明や報告を、文章展開に留意しながら情報を読み取り、要点を把握できる。		A B C		中学校で扱う語句や文を用いて書かれたものであれば、社会的な話題に関する50語~150語程度の説明や報告を、文章展開に留意しながら情報を読み取り、要点を把握できる。	A B C		簡単な語句や文を用いて、買い物や食事、道案内、電話などの関心のある事柄について、即興で伝え合うことができる。	A B C
Speaking (やり取り)	日常的な話題について	小学校での学習やこれまでの経験の中で触れてきた簡単な語句や文を用いて、買い物や食事、道案内、電話などの関心のある事柄について、即興で伝え合うことができる。		A B C		中学校で扱う簡単な語句や文を用いて、買い物や食事、道案内、電話などの関心のある事柄について、即興で伝え合うことができる。	A B C		日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	A B C
	社会的な話題について	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、小学校での学習やこれまでの経験の中で触れてきた簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。		A B C		社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、中学校で扱う簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	A B C		社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	A B C
Speaking (発表)	日常的な話題について	小学校での学習やこれまでの経験の中で触れてきた簡単な語句や文を活用すれば、日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて内容を伝えることができる。		A B C		中学校で扱う簡単な語句や文を活用すれば、日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて内容を伝えることができる。	A B C		簡単な語句や文を活用すれば、日常的话题について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を伝えることができる。	A B C
	社会的な話題について	小学校での学習やこれまでの経験の中で触れてきた簡単な語句や文を活用すれば、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことを基に、考えたことや感じたことを、理由や根拠とともに伝えることができる。		A B C		中学校で扱う簡単な語句や文を活用すれば、社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことを基に、考えたことや感じたことを、理由や根拠とともに伝えることができる。	A B C		社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	A B C
Writing (書くこと)	日常的な話題について	関心のある事柄について、小学校での学習やこれまでの経験の中で触れてきた簡単な語句や文を用いて10語程度の論理的な文章を書くことで、自分の意見や感想を伝えることができる。		A B C		関心のある事柄について、中学校で扱う簡単な語句や文を用いて20語程度の論理的な文章を書くことで、自分の意見や感想を伝えることができる。	A B C		関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて30語程度の論理的な文章を書くことで、自分の意見や感想を伝えることができる。	A B C
	社会的な話題について	小学校での学習やこれまでの経験の中で触れてきた簡単な語句や文を活用すれば、社会的な話題(外国の文化、国際協力、社会問題など)について、聞いたり読んだりした内容に関して、自分の考えを書くことができる。		A B C		中学校で扱う簡単な語句や文を活用すれば、社会的な話題(外国の文化、国際協力、社会問題など)について、聞いたり読んだりした内容に関して、自分の考えを書くことができる。	A B C		社会的な話題(外国の文化、国際協力、社会問題など)について、聞いたり読んだりした内容に関して感じたことや考えたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができる。	A B C